

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2000-324341(P2000-324341A)

【公開日】平成12年11月24日(2000.11.24)

【出願番号】特願平11-127161

【国際特許分類】

H 04 N	1/407	(2006.01)
H 04 N	1/387	(2006.01)
A 61 B	6/00	(2006.01)
G 06 T	1/00	(2006.01)

【F I】

H 04 N	1/40	1 0 1 E
H 04 N	1/387	
A 61 B	6/00	3 5 0 M
G 06 T	1/00	2 9 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月28日(2006.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 撮像画像に画像処理を行う画像処理手段と、
前記画像処理後の画像を出力する出力手段とを備え、
前記出力手段で出力する画像の出力サイズ、出力先の媒体のいずれかに応じて、前記画像処理のパラメータを変更することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】 前記画像処理は、階調変換処理であり、前記階調変換処理で用いる階調変換曲線の傾きを前記出力サイズに応じて変更することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】 前記階調変換曲線の傾きを前記出力サイズが小さくなるに従い、小さくすることを特徴とする請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】 前記撮像画像は、放射線撮影をして得られた画像を含むことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像処理装置。

【請求項5】 X線を発生させるX線発生回路と、
前記X線を前記撮像画像に変換するための2次元X線センサと、
請求項1乃至4のいずれか1項に記載の画像処理装置と
を有することを特徴とする画像処理システム。

【請求項6】 撮像画像に画像処理を行う画像処理工程と、
前記画像処理後の画像を出力する出力工程とを備え、
前記出力工程で出力する画像の出力サイズ、出力先の媒体のいずれかに応じて、前記画像処理のパラメータを変更することを特徴とする画像処理方法。

【請求項7】 請求項6に記載の画像処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えば、放射線（X線等）撮影により得られた撮影画像から特徴量を抽出し、その特徴量や画像処理パラメータに基づいて撮影画像に対する画像処理を行う画像処理装置、画像処理システム、画像処理方法、及び、当該画像処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明の画像処理装置は、撮像画像に画像処理を行う画像処理手段と、前記画像処理後の画像を出力する出力手段とを備え、前記出力手段で出力する画像の出力サイズ、出力先の媒体のいずれかに応じて、前記画像処理のパラメータを変更する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の画像処理装置における他の態様は、前記画像処理は、階調変換処理であり、前記階調変換処理で用いる階調変換曲線の傾きを前記出力サイズに応じて変更する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明の画像処理装置におけるその他の態様は、前記階調変換曲線の傾きを前記出力サイズが小さくなるに従い、小さくする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明の画像処理装置におけるその他の態様は、前記撮像画像は、放射線撮影をして得られた画像を含む。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の画像処理システムは、X線を発生させるX線発生回路と、前記X線を前記撮像

画像に変換するための 2 次元 X 線センサと、前記画像処理装置とを有する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の画像処理方法は、撮像画像に画像処理を行う画像処理工程と、前記画像処理後の画像を出力する出力工程とを備え、前記出力工程で出力する画像の出力サイズ、出力先の媒体のいずれかに応じて、前記画像処理のパラメータを変更する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、前記画像処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記憶する。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】